

おばなざわ

小さい秋
み~つけた!



目次

- 2 … 市民ワークショップ・まちづくり座談会報告
- 4 … トピックス・市長コラム
- 8 … おばなざわ日記
- 10 … みんなのページ
- 12 … お知らせ
- 16 … おばねの方言かるた

令和2年

11月

No.829



第7回

とくべつ れんさい きかく
特別連載企画

おばねの方言かるたをつくってあそぼう!

～製作：尾花沢市むかしを語る会「いろり」 イラスト(原画)：ふるせ しおり～

おばなざわ ほうげん つか おもしろ しほう かい しょうかい
尾花沢の方言を使った面白いかるたを市報で8回にわたって紹介するよ。

ぜんぶあつ よ ふだ まい えふだ まい かんせい
全部集めて読み札45枚と絵札45枚を完成させよう。

<p>「標」両側を 二人で持って こぼすなよ</p> <p>り りようかつつ ふたりでたがって こぼすなよ</p>		<p>「標」ゆわえつけた リヤカーのロープ ほどけてしまった</p> <p>ゆ ゆつぼった リヤカーのになな ほどげだわ</p>	
<p>「標」留守にするなら しんぱり棒を 忘れんな</p> <p>る るすえすつげば すんぱり棒を 忘れんな</p>		<p>「標」必要なものまで 捨てられた 大掃除</p> <p>よ よんだものまで 投げらつた 大掃除</p>	
<p>「標」列になつて 尾花沢の祭り 花笠ゆれる</p> <p>れ れつなして おばねの祭り 花笠ゆれる</p>		<p>「標」一生懸命 仕上げた わら帽字</p> <p>ら らんきになつて 出がした みぬげぼすん</p>	

遊び方

- 好きな色をぬろう
- はさみで切ってみよう
- かるた完成!
遊んでみよう

市の人口と世帯

11月1日 現在	前月比
男 7,575人	(-19)
女 7,844人	(-14)
計 15,419人	(-33)
世帯数 5,391戸	(-3)

先月中の動き (届出件数)	
出生 ……	5人
死亡 ……	33人
転入 ……	17人
転出 ……	22人
婚姻 ……	1組

表紙

小さい秋み~つけた!

10月9日、玉野小学校と地域活動団体「ニツ森ゆう大学」が共同で「ブナ林散策と全校芋煮会」を開催しました。色づき始めたブナ林を低・中・高学年に分かれて散策。1・2年生は散策後、ブナ観音付近で栗の実や赤や黄色に染まった落ち葉などをひろい集めました。「見て見て、どんぐりひろったよ!」と自慢げに見せてくれた子どもたち。空っぽだったビニール袋は、帰りの時間には小さな秋のかけらでいっぱいにくらんでいました。
(寺町 ブナ共生の森にて)



「まちづくり座談会」は、各地区の区長さんをはじめ多くの市民の皆さまのご協力をいただきながら、3密回避に配慮した上で、8月下旬から10月下旬までの期間で開催し、延べ290人を超える市民の方々からご参加いただきました。

地域の支え合いや子育て支援、高齢者の居場所づくりなど幅広い分野について様々なご意見をいただきました。

地域のこと

- ・地域の声かけが大事。何か困ったときに頼れる関係を築くことが安心な暮らしにつながる。
- ・ふるさとに誇りを持つことが大事。地域にある文化財を活用した地域づくりを進めてはどうか。
- ・地区民が集まれる場所があることで、高齢者と子どもの交流も生まれている。このような場所がたくさんあるといいのではないかな。
- ・地域で集まる機会が減っている。“毎月〇日は地域活動参加の日”などを設けてもおもしろいのではないかな。

子育てのこと

- ・子どもたちに対する防災教育を強化できないか。総合防災訓練等への参加を通して、学校以外での災害対応について学ばせたい。
- ・高校の3年間は今後の人生を左右する大事な時期なのだから、子育て支援では高校生にも目を向けて欲しい。
- ・障がい児の通学支援だけでなく、企業への就職支援にも力を入れて欲しい。
- ・地域の子どもたちが健やかに成長できるように地域みんなで見守っていききたい。

まちづくり座談会

高齢者のこと

- ・高齢者がいつまでも健康で楽しく生活していくために、地域の中に健康づくりの拠点があるといいのではないかな。
- ・運転免許証の返納などにより交通弱者となったときの生活が心配。利用しやすい交通手段を確保して、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めて欲しい。
- ・農業は高齢者の生きがいがづくりや健康づくりにもつながっていると思う。

その他

- ・これからの未来を考えた場合、「先端技術をどのように活用していくか」という視点が重要だと思う。
- ・すいかづくりなどの担い手確保のために、新規就農者はもちろんのこと、家族農業に対しても支援してはどうか。



まとめ

「市民ワークショップ」と「まちづくり座談会」では雪対策や公共交通の充実、空き家や空き公共施設の利活用、産業における担い手不足の解消、地域で見守る子育て環境など、誰もが住み続けられるまちの実現に向けた意見が出されました。

皆さまからいただいたご意見を参考にしながら、第7次総合振興計画の策定を進めてまいります。お忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。

「市民ワークショップ」と「まちづくり座談会」を開催しました!

本市では現在、今後10年間のまちづくりの指針となる「第7次尾花沢市総合振興計画」の策定に取り組んでいるところですが、未来の尾花沢について市民の皆さまのご意見をお聞きするため、「市民ワークショップ」と各地区での「まちづくり座談会」を開催しました。皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。

市民ワークショップ

令和2年1月から9月までの期間で全6回開催し、大学生から90歳まで延べ143人が参加した「尾花沢の未来を考えるワークショップ」。ワークショップでは尾花沢の良いところや課題を話し合い、10年後の尾花沢の将来像について意見交換を行いました。「産業」「健康・福祉」「子育て・教育」「都市基盤」「協働・行財政」の5つの分野に分かれて、課題を解決するためには誰がどんなことをすればいいのかを検討し、「自分たちができること」「未来の尾花沢に期待すること」などについて話し合いを重ねました。最終回では、分野ごとにこれまでの検討内容をまとめ、参加者が考える尾花沢の将来像について発表を行いました。

5つのグループで考えた尾花沢の将来像

産業グループ

- 農林業**
 - ・持続できる農林業
 - ・空き店舗のない、にぎわいのあるまち尾花沢
- 商工業**
 - ・地産地消によって、「稼ぎ」が増える尾花沢
 - ・人材交流によって、後継者が育つ尾花沢
- 観光・交流**
 - ・豊かな食文化、四季を楽しむ尾花沢
 - ・人が行き交う尾花沢



都市基盤グループ

- 住環境・交通体系・道路網**
 - ・使いやすいバス運行を整備した便利なまち尾花沢
 - ・空き家をなくし、子どもからお年寄りまで住み続けられる未来が見えるまち尾花沢
- 消防・防災・安全対策**
 - ・訓練への積極的な参加で安全・安心に自信がもてる尾花沢
- 環境保全・雪対策**
 - ・再生可能エネルギーを活用したクリーンで誇らしいまち尾花沢



健康・福祉グループ

- 健康づくり・医療**
 - ・健康意識の高揚で、健康寿命日本一のまち尾花沢
- 高齢者福祉**
 - ・年を重ねるのが楽しみになるまち尾花沢



協働・行財政グループ

- 協働のまちづくり**
 - ・地域間交流や外部人材の活用を推進し、地域住民の主体性が生きるまち
- 行財政**
 - ・教育機関や民間企業と連携して活気のある尾花沢
 - ・市役所や公共施設の休憩スペースや展示スペース、ワンストップ化を活用し居心地の良い環境づくり
- 情報発信**
 - ・SNS等の幅広い手段を活用し、市民参加型の情報発信をすることで「行ってみたい」、「住んでみたい」と思ってもらえるまち
 - ・世代間のニーズをとらえたリアルな情報をタイムリーに発信し、市民1人ひとりに情報が行きわたるまち



子育て・教育グループ

- 子育て支援**
 - ・家族で遊べる屋内・屋外施設がある尾花沢
- 教育**
 - ・地元の人と交流を通して地元の良さを学び、自ら行動できる子どもが育つ尾花沢
- 生涯学習・スポーツ**
 - ・市民1人1人が活躍できる場があることで、いつまでもいきいきと過ごせるまち



トピックス
TOPICS 2

高齢者叙勲
落合 悦郎 氏(寺内 2)

落合悦郎氏が地方自治功勞により「瑞宝双光章」を受章され、10月31日に叙勲伝達式が行われました。

落合氏は昭和33年から平成3年の32年間、尾花沢市職員として務められた後、平成6年3月から平成10年8月までの4年4カ月の間、尾花沢市助役として本市政の発展に多大な貢献をされました。

これまでのご功績に敬意を表します。

※瑞宝章：国家または公共に対し功勞があり、特に公務等に永年にわたり従事し、功績をあげた方に授与される章です。



▲市長より勲章と勲記を手渡された落合氏(写真左)

トピックス
TOPICS 3

監査委員功勞表彰
高宮 徹哉 氏(臈 氣)

高宮氏は平成18年9月に尾花沢市監査委員に任命されてから、14年にわたり監査委員を務め、令和2年9月30日をもって退任となりました。この間高宮氏は、市各部署、消防本部、各行政委員会の財務や事務事業が適正に執行されているかを監査されてきました。

これまでのご功績に敬意を表します。



▲市長より表彰状を手渡された高宮氏(写真左)

監査体制が新しくなりました
(令和2年10月1日より)

・代表監査委員 小林 秀也
・監査委員 菅原 和子

※敬称略

トピックス
TOPICS 4

郷土を護る消防団員表彰
三浦 雅彦 氏(行 沢)

市消防団第3分団長の三浦雅彦氏が、若者の消防団離れが進む中、地域住民と協力し、消防団活動推進に尽力されたことが認められ、「(一財)山形県消防協会の「郷土を護る消防団員」として表彰されました。

三浦氏は昭和58年4月に消防団員となつて以降、長きにわたり消防団活動に従事されています。

「長く消防団をやっている、皆さんから助けていただいたおかげです。」と三浦氏。これまでの功績に深く感謝するとともに、これからの益々の活躍に期待します。



▲10月23日、受賞の報告で市役所を訪れた三浦氏(写真中央)

トピックス
TOPICS 1

市民文化祭
山形県少年少女俳句大会

10月31日から11月3日にかけて市民文化祭が開催されました。11月3日には「山形県少年少女俳句大会」の表彰式も行われ、会場となったサルナートには、大勢の市民が訪れました。

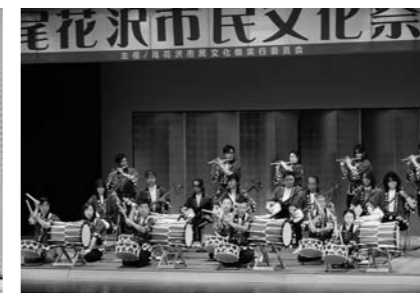


▲サルナートアリーナに展示された作品。家族連れなどたくさんの市民が鑑賞していました。

今年の文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者を市民限定としましたが、展示会場のサルナートには絵画や様々な手作り作品などがテーマごとに並び、訪れた市民は作品をじっくり見て回っていました。また、コンベンションホールでは、尾花沢雅楽保存会やまつりばやし保存会の演奏、踊りやバンド演奏などの発表が行われ、出演者の皆さんは、日頃の練習の成果を披露しました。催物では尾花沢囲碁愛好会の囲碁大会や、気象ものさし研究会による「R3 長期天候予想ゼミナール」も行われ、文化の秋にふさわしい充実の4日間となりました。



▲「想思コラボコーナー」など展示にも工夫が凝らされ、鑑賞しやすくなりました。



▲まつりばやし保存会の演奏。夏の花笠まつりの賑やかさが思い起こされました。



▲尾花沢雅楽保存会による「越天楽」の演奏で公演の部がスタート。



▲サルナート入口にずらりと並んだ観賞用菊は、全て吉田さんお一人によるもの。



▲日本舞踊の伝統芸能から、社交ダンスやフラダンス、詩吟やバンド演奏など様々な団体がコンベンションホールで公演を行いました。



第31回 山形県少年少女俳句大会 表彰式

11月3日、山形県少年少女俳句大会表彰式がサルナートコンベンションホールにて行われました。表彰式は尾花沢中学校の生徒が受付・案内や司会、歓迎のことばや入賞者の俳句披露、賞状伝達を担当しました。

今年は県内の小中学校から4千33句の投句があり、小中学生合わせて延べ45句が賞に選ばれました。表彰後の講評では、選者の大類つとむ先生より「自分の目で観察し、見つけた瞬間にあつと思つたものを俳句にしてください。」と入選者にアドバイスされました。

※入賞作品は12ページで紹介しています。

トピックス
TOPICS5

「すいか甘酒」が
おいしい山形賞受賞

やまがた食産業クラスター協議会が主催する令和2年度山形のうまいもの「フライングフードコンテスト」の飲料部門で、農事組合法人ドメーヌ楽酒業が開発した「すいか甘酒」が、おいしい山形賞を受賞しました。

ドメーヌ楽酒業は、市内で酒造好適米である山田錦の栽培と酒造りに取り組んでおり、酒造りの過程で出される酒粕を利用して甘酒を作ることを企画。㈱尾花沢市ふるさと振興公社に製造を依頼して尾花沢すいかパウダー入りの甘酒が完成しました。今後は年間約3千本の販売を目指していきたいそうです。



▲ドメーヌ楽酒業の近藤代表(写真左)と、すいか甘酒の製造を行っている尾花沢市ふるさと振興公社の土屋さん(写真右)

トピックス
TOPICS6

保育施設未来予想図検討委員会
提言書を市へ提出

10月19日に「尾花沢市保育施設未来予想図検討委員会」より、今後の保育所のあり方に関する提言書が市長に手渡されました。

委員会では、令和2年2月からワークショップ等計4回にわたって検討を重ね、「急激な少子化」「施設老朽化」「新たな保育サービスへの対応」の3つの視点で意見を取りまとめました。

今後、市ではこの提言を受けて、各地区の声を聞きながら検討していきます。なお、提言書の内容については市公式HP「おがくれ」に掲載いたします。



▲市長へ提言書を手渡しする石塚清委員長(写真左)

トピックス
TOPICS7

みちのく村山農業協同組合
カーブミラーを寄贈

10月21日、みちのく村山農業協同組合が、カーブミラー6基を寄贈してくださいます。視界の悪い交差点等へ設置し活用させていただきます。



トピックス
TOPICS8

山形県建設労働組合青年部
アクリルパネルを寄贈

10月27日、山形県建設労働組合連合会青年部が、新型コロナウイルス感染症防止のためのアクリルパネルを3枚寄贈してくださいました。市役所2階に設置させていただきます。



トピックス
TOPICS9
北村山高校で
地元企業の技術体験

10月22日北村山高校で、FA機器・電子応用機器製造を行っているオプテックス工業(本社尾花沢市)を講師に招き、プログラミング体験授業が行われました。

「地元企業によるプログラミング・ロボット操作の体験授業開催」

この日は北村山高校の1年生が、プログラミングやドローンなどのロボット操作の体験授業を受けました。

オプテックス工業は国内外に拠点をもち、主に自動車関連工場向けの自動化・省力化(Facility Automation)装置を設計から製造まで一貫生産している会社です。装置を動かすために必要なソフト開発の過程には、プログラミング技術が欠かせません。

授業では、オプテックス工業の従業員が講師となり、プログラミングを体験。パソコンで「スクラッチ」という無料のプログラミング環境を使用して画面内で動くキャラクターを作成しました。

また、ドローンや精密小型ロボットの操作も体験。ドローンと小型ロボットには小型カメラがついていて、生徒たちはスマートフォンに映るカメラの映像を見ながら、ボタンで動きを操作。慣れるまで操作が難しいようでしたが、前後左右と小回りの効く機械の動きを楽しみながら学習しました。

「生徒たちの将来を考える糧に」生徒たちは、社会で益々需要



▲キャラクターの動きをプログラミング中

▲精密小型ロボットを操作する生徒

が高まるプログラミング技術を真剣な表情で学んでいました。この授業を通して、新たな技術に触れることはもちろん、地元尾花沢で生まれた技術が世界を駆ける「モノづくり企業」が存在することを学ぶ貴重な機会となりました。生徒たちの将来を考える一端になったのではないでしょう。

紅色や黄色に彩られた山々もセピア色に変わり、秋の深まりを感じる頃となりました。収穫の秋、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋とそれぞれありますが、私は「芸術の秋」を思い浮かべます。

10月31日から4日間開催された尾花沢市民文化祭では、各種公演や催し物、展示を楽しませていただきました。今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者を尾花沢市民に限定させていただきましたが、来場者も楽しんでいただけたのではないのでしょうか。次回はぜひ市外の方にもご覧いただきたいものです。また、少年少女俳句大会に応募いただいた句は、子ども達の豊かな感性が溢れ、その情景を思い描ける作品が多く、日々健やかに成長されていることが実感できました。

11月5日からは常盤地区を皮切りに、各地区でふれあい作品展が開催されています。手作りの作品を眺めていると心が温かくなります。お知り合いの方の作品もあるかもしれませんので、ぜひ足を運んでいただければと思います。

11月22日には親子ふれあいコンサートが開催されます。新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催となりますが、公演を楽しみ、感想を語り合い、親子でゆっくと向き合う時間になることを期待しています。季節も移り、冬支度の時期になってまいりました。先日、除雪車出動式を執り行いました。除雪作業中の無事故と今冬も安全・安心な道路の確保ができるよう祈願したところです。日本一の除雪オペレーターの皆さんの腕を振るっていただきたいと思います。早めにインフルエンザの予防接種を受けていただき、くれぐれもお身体をご自愛ください。

尾花沢市長 菅根 茂雄



市長コラム

**福原小学校クラブ活動
地域の伝統継承**

福原小では地域の先生を招いたクラブ活動が行われました。4、6年生の児童が、田植え踊り、絵手紙、太鼓、小物、地域探検、グラウンドゴルフを習いました。名木沢地区に明治時代から伝わりとされる名木沢豊年田植え踊りには、6人の児童が参加。種をまいたり、地面にしゃがんで稲を植える昔の田植えの様子を表現した踊りを教えてもらいながら、地元の伝統文化を受け継ぎました。



**尾花沢幼稚園ハロウィンパーティー
かわいい仮装でお菓子ゲット!**

10月29日、尾花沢幼稚園内でハロウィンパーティーが行われました。大人気アニメや、プリンセスのドレス、カボチャの着ぐるみなど十色十色のコスプレをした0〜5歳の園児たちがお遊戯室に大集合。いつもと違う格好に園児たちも大はしゃぎでした。その後、年長組さんは近所のお宅を訪れ、「トリック・オア・トリート!」と元気に声をかけ、お菓子をゲットしていました。



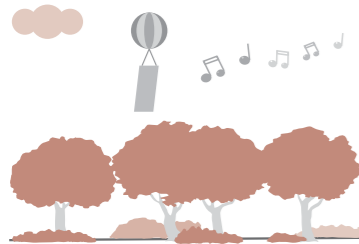
おばなざわ日記 *Obanazawa*
Diary

あなたのまわりの、身近な話題や出来事などをどしどしお寄せください!

☎ 総合政策課 ☎ 22-1111

**大きくなって帰るんだも〜
宝栄牧場下牧式**

10月23日に宝栄牧場の下牧式が行われ、今年度入牧した肉牛・乳牛合わせて99頭の放牧は終了となりました。5月下旬から広大な高原でのびのびと過ごした牛たちは、入牧時よりも50〜60kg程度体重を増やし、毛並みもツヤツヤ。名残惜しくトラックの前で踏ん張る牛もいましたが、農家の誘導で無事トラックに乗り込み、各牛舎へと帰っていきました。



**常盤小学校大根収穫・販売活動
みんなで育てた常盤大根**

10月9日・10日、常盤小3・4年生が大根の収穫・販売を行いました。8月に鶴子地内の畑に児童達がまいた種は立派に成長し、千本のおいしいような大根が収穫されました。市役所の販売会場では、袋詰め、会計、呼び込みを分担し、用意した600本はあっという間に完売。翌日の旧鶴子小・常盤地区公民館でも大盛況のうちに完売し、児童達は、栽培、販売活動を通じて多くの事を学びました。



**おーばん琴の森 元気森もりこども塾
落ち葉と木の実で万華鏡を作ったよ**

県と市、㈱おーばんの3者が協定を結び管理している長根山のおーばん琴の森で「元気森もりこども塾」が今年も開催され、宮沢小と尾花沢小の児童延べ140人が参加しました。児童たちは、万華鏡を手作りし、森の散策をスタート。白い斑点のついたキノコ、料理に使われる山椒、赤い木の実などを万華鏡に入れてのぞき込みました。身近にある森で動植物を観察し、自然環境を楽しく学びました。



**思いがけない楽しさ! 拓本技法
尾花沢地区公民館秋の体験教室**

10月17日、芭蕉、清風歴史資料館で親子13人が拓本づくりに挑戦。大類誠講師の指導で俳句や昆虫、キャラクターなどが掘られた石の上に和紙をのせ、墨を付けたタンポで紙を軽くたたいて形を写し取ります。参加者は「難しいけど、工作のようで楽しい。」と絵や文字が浮き出た拓本を掛け軸に仕立てました。また、笹原館長の「芭蕉と清風のものしりクイズ」でおくほそ道も学びました。



**「清流と山菜の里ほその村設立10周年記念式典
地区民皆で迎えた10周年**

平成22年に設立した「清流と山菜の里ほその村」が、今年で10周年を迎えたことを記念し式典が開催されました。細野地区で楽しく元気に暮らすために地区民全員が会員となり、毎月定例会で事業計画などを話し合ってきました。お母さん達の雇用の場として農家レストランを運営したり、地域資源を有効活用して年間各種イベントを開催するなど、交流人口を拡大し地域活性化を図っています。



Jump はばだけ 中学生

尾花沢中2年
柴田 純介さん(若葉町)
(ゴールキーパー)



尾花沢中2年
柏倉 理来さん(新町3)
(フォワード)

「新人戦の県大会で優勝するために特訓中！」

柏倉理来さんと柴田純介さんは、学校の総合部に所属し、新庄地区のサッカークラブチーム「ACEゼーレ」に加入しています。約50人のチームメイトがいて、どの人が試合に出るか日々の練習を見て監督が決めているので気が抜けないそうです。

★2人への質問★
①自分のプレーの長所は？②印象に残っている試合は？③新人戦に向けてどんな練習をしていますか？

柏倉理来さん(ポジション フォワード)
①足が速いところ。
②宮城遠征で宮城の強い人たちと試合をしたのが楽しかった。圧勝で勝つのも楽しいけれど強いチームと競って勝つのも楽しい。
③シュート練習。動きながらも正確にシュートが打てるように特訓している。

柴田純介さん(ポジション ゴールキーパー)
①パスが自信ある。
②去年、東北リーグ昇格戦で県内1位になった。周りが3年生ばかりで、初めて試合に出たのでうれしかった。
③体格が大きくないので、ジャンプで遠くのボールをカバーするために下半身の筋トレをしている。

きた★スタ!

北村山高校では、10月に生徒会役員選挙を行い、これからの北村山高校をリードする新しい生徒会役員を選出しました。

vol.48

編集委員の皆さん



左から 阿部珠羅 能登佳音



立合演説会の様子



市役所からお借りした投票箱



候補者の思いをしっかりと聞きました

北村山高校では、10月13日に生徒会役員選挙を行いました。コロナ禍の中、三密を防止するためにソーシャル・ディスタンスを保ちながら体育館に集まり、北村山高校の次のリーダーとなる立候補者の演説にしっかりと耳を傾けました。

今年、生徒会長、副会長、議長、副議長にそれぞれ定員通りの立候補だったため、信任投票となりました。それぞれの立候補者がこれから学校をどのように変化させていきたいかを考え、熱い思いを演説してくれました。新しく信任された生徒会役員を中心に、これまでの伝統も引き継ぎながら、私たち全員で次の世代の北村山高校を築いていきたいと思えます。

公職選挙の選挙権年齢が18歳以上に引き下げられており、選挙に関する意識を高めるため、生徒会役員選挙においても本物の投票箱を市役所からお借りして投票を行っています。実際の投票箱を使用することで本物の選挙の雰囲気を感じることができ、貴重な体験ができました。日本選挙の投票率は全年代を通じて低いですが、特に10代から20代の若い年代の投票率が低いため、この体験を通して私たち自身も選挙に関心をもち、将来、貴重な権利をしっかりと行使できるように備えていきたいと思えます。

ACCESS My Class

常盤小学校
5・6年生14人



「自立・協力・挑戦」

私たちのクラスは、明るく元気いっぱい、協力のクラスです。「自立」「協力」「挑戦」を目標にいろいろなことに取り組みんでいます。クラスの良いところは、何事にも一生けんめい取り組むところです。放課後マラソンもその一つです。体力作りのために、毎日学校の坂を走っています。今、体育で頑張っていることは、テニスやサッカーなどです。テニスやサッカーでは、チームで戦を立てて楽しくゲームをしています。なわとびでは、いろいろな技やダブルダッジにも挑戦しています。



常盤小学校6年
豊島菜々笑さん(三日町)
佐藤 伶海さん(鶴子1)

先生からのひとこと
三浦 敬喜 先生
統合1年目。新しい仲間が増えて、クラスの間もパワーアップしました。何事にも真剣に取り組む姿に感心しています。一人一人のよさを生かして、さらにパワーアップしてください。

ABESA おくおく子育て Q&A

こんなとき、どうしてますか？
子育てをする中でよくあるお悩みについて、他の家庭ではどのように対処しているかを紹介します。



お悩み 1歳の子どもがチャイルドシートに乗るのを嫌がるようになりました。

コメント 1歳頃になると、動き回りたくなるのかこのような悩みが増えるようです。

事例① 財布や車の鍵など子どもが好きな物を持たせています。シートに乗ると大人しくなるので乗るまでを工夫しています。

事例② 家の中にあるお気に入りのおもちゃや、子どもが乗る座席の窓側や足元にぶら下がっています。おしゃぶりホルダーを使うと良いです。

事例③ 子どもが犬が大好きなので、「〇〇(実家の犬の名前)のところに行くよ」とか「ABESA行くとよ」など子どもに視線を合わせながら言っています。車に乗る前に、子どもが興味をひくような行き先を伝えると良いようです。

事例④ 夏、チャイルドシートが高温になっていたようで、チャイルドシートに遮熱シートを被せたら、嫌がらなくなりました。



ミニ健康フェスタin上柳 秋のブナ林ウォーキング

10月10日、ブナ共生の森で秋のブナ林ウォーキングが開催され、32人が参加しました。参加者は、紅葉で色づき始めたブナ林を散策し、新型コロナで普段の生活が制限される中、心身のリフレッシュと日ごろの運動不足を解消しました。



第31回山形県少年少女俳句大会 入賞作品紹介

【小学生の部】
●県知事賞『ひとつだけはぐれてしまふしやぼん玉』常盤小4年古郡妃菜 ●県議会議長賞『たくさんのおしりならべて田うえる』福原小2年高橋禾有 ●県教育委員会教育長賞『炎天下カラスが渡る信号機』寒河江市立西根小5年芳賀柊太 ●県市長会会長賞『たべかけのすいかをばくのくわがたに』尾花沢小1年庄司奏心 ●尾花沢市長賞『汗ぬぐいほおぼる母の塩むすび』寒河江市立西根小5年安藤愛音

【中学生の部】

●県知事賞『幽霊を信じたくなる暑さかな』南陽市立赤湯中3年遠藤潤葉 ●県議会議長賞『試合中は気づかなかつた蝉の声』上市市立北中3年小口佑生 ●県教育委員会教育長賞『ひまわりもアリものぞくな通知表』尾花沢中3年菅野利桜 ●県市長会会長賞『町中にアトオブリエのようなセミ』尾花沢中3年有路栞太 ●尾花沢市長賞『風鈴と書き込みだらけ参考書』米沢市立第4中3年大山玲衣

障害者控除対象者認定書交付

身体障害者手帳をお持ちでない方でも、確定申告等の際、障害者控除を受けることができます。認定書の交付を希望される方は、福祉課窓口で申請してください。
●対象者／満65歳以上で、介護保険の要介護認定において、基準日に要介護1～5の認定を受けている方。
●基準日／税申告の対象となる年の12月31日
●持ち物／印鑑、申請者の顔写真付き本人確認書類(免許証等) 詳細は市HPに掲載しています。
◎福祉課 介護福祉係【内線162】

令和2年度尾花沢市成人式再延期

令和3年1月10日に延期しておりました成人式は、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立っていないことから左記の日程に再延期することとしました。ご理解とご協力をお願いします。
●日時／令和3年8月14日(土)
※詳しい時間等については、後日連絡します。
●対象者／令和2年度成人式該当者

建設課よりお知らせ

【樹木伐採及び枝打ちのお願い】
所有されている道路沿いの樹木が道路の通行に支障をきたす恐れがある場合は、降雪前に伐採・枝打ちのご協力をお願いします。除雪作業は高さ3.5mの除雪車で行います。

【流雪溝の使用ルールについて】

流雪溝にゴミを捨てると水上がりの原因となります。冬を快適に過ごすため、流雪溝の使用ルールを守りましょう。

- ①中網を開けて投雪しない。
- ②重機で直接雪を捨てない。
- ③勝手な分水操作はしない。
- ④流雪溝にゴミを捨てない。
- ⑤水上がりの時、水が少ない時は投雪しない。

流雪溝の使用開始は 12月1日からとなります。



※流雪溝には絶対にゴミを捨てないでください。

◎建設課 維持管理【内線282、283】

令和2年度 防火標語コンクール入選者

こどもたちの防火教育と火災予防の啓発のため少年消防クラブ防火標語コンクールを行い、以下のとおり入選者が決定しました。

尾花沢小学校少年消防クラブ

『大丈夫？ はなれるときは 火を消して』
5年 鈴木創太さん

『ちゃんと見て タコ足配線 火がつくよ』
5年 横山千咲さん

福原小学校少年消防クラブ

『おとなりにあげる安心 火の始末』
6年 戸田爽太さん

宮沢小学校少年消防クラブ

『その油断 火事につながる 第一歩』
6年 石山裕土さん

玉野小学校少年消防クラブ

『火のしまつ 毎日かくにん 火災ゼロ』
5年 折原 巨さん

常盤小学校少年消防クラブ

『火の元を みんなで確認 つかつかます』
5年 五十嵐愛彩さん

除雪サービス事業

居住の除雪を自力で行うことが困難な世帯に対し、除雪費用の一部を助成し、冬の安心安全な市民生活を応援します。

●対象者／①65歳以上の高齢者のみの世帯②重度心身障害者のみの世帯③高齢者に加え重度心身障害者がいる世帯

※①～③のいずれかに該当し世帯全員の市民税が非課税、または均等割のみに限ります。

助成額／

上限4万円(千円券を40枚)

◎福祉課 社会福祉係【内線173】

【DV】ひとりご悩まず、話して、前を向おう

11月12日～11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等の暴力は、人権を侵害するものであり、決して許されない行為です。

DV相談ナビ ☎#80008(はれば) DV相談プラズ ☎0120(29)889(つなぐ)はやく

◎尾花沢市少年女性防火委員会 消防本部 予防保安係 ☎(22)1131

保育園給食放射性物質測定結果

市内保育園の給食の安全性を確認するために輪番で放射性ヨウ素・セシウムの検査を実施しています。

園名	測定結果	給食提供日
よつば	不検出	10月19日～23日

◎福祉課 子育て支援係【内線177】

県知事選に立候補される方へ 説明会の開催について

令和3年1月24日執行予定の山形県知事選挙の立候補届出予定者説明会及び出納責任者事務説明会が次のとおり開催されます。

●日時／12月8日(火) 午前10時～

●場所／県庁1001会議室 (山形市松波2-8-1) ◎山形県選挙管理委員会 ☎023(60)2081

第7回 山形ビッグウイング フェスティバル開催

村山広域7市7町うまいものフェア、山形市伝統的工芸品まつりの併催イベントです。

■日時／
11月28日(土)、11月29日(日)
午前10時～午後4時

■会場／
山形ビッグウイング1階展示場
■入場料／無料
※急な変更・中止がありますので最新情報はHPでご確認ください。ご来館の際は、マスクの着用をお願いします。

◎山形ビッグウイング
☎023(65)3100

熟睡プラ寝たりウム

満点の星空の下で、ゆったりと時間が過ぎ、いつの間にか夢の中へ…。ぐっすり寝て、日頃の疲れを癒しませんか？中学生以上が対象です。HPかお電話で事前にお申し込みください。

■日時／11月23日(月)
■場所／北村山視聴覚教育センター
◎北村山視聴覚教育センター
☎0237(55)4211

マザーズおしごと相談会

就職をお考えの子育て中の女性を対象にセミナーと相談会を開催します。お子様と一緒に、お気軽にご参加ください。

■場所／ハローワーク村山(村山市榎岡五日町14-30)

■開催日・内容／
○11月30日(月)：セミナー「ママが働く前に知っておきたいお金の話」、個別相談
○12月18日(金)：セミナー「ワタシ流就活のススメ」、個別相談
○1月25日(月)：セミナー「就職活動の基本とポイント」、個別相談

※セミナーへの参加のみ事前申込が必要です。
◎マザーズジョブサポート山形
☎023(66)5915

無料「人権なんでも相談所」

どんなことでも、なんでも、お気軽にご相談ください。

■日時／12月1日(火)
午前10時～午後3時
■場所／尾花沢市老人福祉センター「東光館」
■相談対応者／人権擁護員、山形

地方法務局人権擁護課

〈近隣市での開催〉

○東根市：12月2日(水) 午前10時～午後3時 東根市「さくらんぼタクトフルセンター」
○大石田町：12月4日(金) 午前10時～午後3時 大石田町民交流センター「虹のプラザ」

【第72回人権週間】

12月4日(金)から10日(木)までの1週間を人権週間と定め、世界人権宣言の意義を訴えけるとともに人権尊重思想の普及高揚を図るべく人権啓発活動を実施します。

◎山形地方法務局人権擁護課
☎023(65)1676

介護家族の集い

介護にお困りの方、関心のある方は、どなたでも参加できます。事前予約が必要です。

■日時／11月21日(土)
午後1時30分～3時30分
■場所／尾花沢市老人福祉センター「東光館」
■内容／介護者相互の交流
■参加費／150円
◎在宅介護を支える家族の会
☎090(2844)1150

やまがた育英会 東京学生寮 令和3年度新入寮生募集

駒込学生会館、板橋学生会館の令和3年度新入寮生を募集します。応募資格／山形県内に居住する保護者の子弟で、首都圏の大学、短大、専門学校等に進学、在学する男女学生。

■提出書類／入寮願書に必要事項を記入し、郵送またはファックスで左記までお送りください。
■入寮願書／ホームページまたは事務局から直接入手できます。

■受付期間／
①前期募集：令和2年12月21日(月)まで
②後期募集：令和2年12月24日(木)～令和3年3月6日(土)

■入寮決定／面接後、前期は12月23日(水)、後期は3月10日(水)に、合格者にのみ連絡します。

◎やまがた育英会事務局
〒114-0015
東京都北区中里3-7-7
☎03(3949)2646
FAX：03(3949)2731
HP：http://yamagata-kyeikai.com

油流出注意！

ホームタンクなどから灯油が漏れ出し、河川や土壌を汚染する事故が増えています。事故の処理費用は、原因者が負担しなければなりません。

給油時はその場を離れない、給油管への落雪に注意するなど、油流出事故防止に努めましょう。

◎環境整備課 生活環境係
【内線261、262】

ひかりセンター相談窓口の案内

精神科医師によるひきこもり相談は毎月1～2回、村山保健所で行っています。

※保健所による相談は随時行っており、家族だけの相談も可能です。

■場所／
村山保健所(山形市十日町)
■申込方法／事前に左記まで電話予約が必要です。
◎村山保健所 保健企画課
☎023(62)1184

新型コロナウイルス感染症に係る令和3年度の固定資産税・都市計画税を軽減します

事業収入が減少し、厳しい経営環境にある中小事業者、個人事業主に対して、令和3年度分に限り事業用資産に係る固定資産税・都市計画税の課税が以下の通り軽減されます。下記期限までに申告書の提出が必要になりますので、忘れずに申請してください。

■対象事業者／中小事業者、個人事業主

■対象要件／令和2年2月1日～令和2年10月31日までの任意の連続する3カ月間の売上高が、新型コロナウイルスの影響により前年同期に比べて30%以上減少していること。

■軽減の対象となる資産／(1)事業用の家屋 (2)償却資産 ※居住用家屋、土地は対象外

■軽減割合／

事業収入の減少割合	課税標準額の軽減割合(税額)
30%以上50%未満減少している方	2分の1に軽減
50%以上減少している方	ゼロに軽減

■申請方法／認定経営革新等支援機関等(税理士、会計士、中小企業診断士、金融機関、商工会等)に以下の会計帳簿等(1)～(3)を提供し、特例措置に関する申告書(裏面)に確認の記名押印をもらった上で、市へ申請してください(郵送可)。

■申請に必要な書類 各1部 ※詳細は市HPか、下記までお問い合わせください

- (1)特例措置に関する申告書(様式は市HPまたは市役所 市民税務課にあります)
- (2)収入減を証する書類(会計帳簿や青色申告決算書の写し)
- (3)特例対象家屋の事業用割合を示す書類(事業用家屋の軽減を受ける場合、青色申告決算書の該当部分の写し。例：「減価償却費の計算」)

■申請期間／令和3年1月4日(月)～2月1日(月)

提出先・お問い合わせ先／市民税務課 資産税係 ☎(22)1111【内線125～127】